

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		26年 7月 日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 八幡市八幡沢1番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 城南衛生管理組合 管理者 山本 正
環境マネジメントシステムの名称	城南衛生管理組合ISO14001適合自主宣言	
適用範囲	本庁管理棟、クリーンピア沢、ごみ中継場 他5事業所	
導入年月日	22年7月20日(平成24年4月1日5事業所サイト拡大)	
認証番号		
基本方針	城南衛生管理組合は、基本理念に基づき資源の有効利用、廃棄物の抑制と再資源化、大気・水質汚染物質の削減をさらに進めます。また、各処理施設は、今日まで最新の環境技術を取り入れ、施設改善を進めて来ましたが、今後も、より高度な処理をめざし、住民にとって一層安心安全な施設運営を図ります。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<ul style="list-style-type: none"> ・白灯油使用量の節減(クリーンピア沢) ・ディーゼル車燃料使用量削減H23~24年度の平均値から1%(ごみ中継場) ・OA用紙の使用量削減(全体) ・他26個の目的目標あり 別紙 環境目的目標一覧表 参照	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・白灯油使用量の節減(クリーンピア沢) 熱交換器の清掃・修理、使用量確認等 ・ディーゼル車燃料使用量削減H23~24年度の平均値から1%(ごみ中継場) エコドライブの徹底、コンテナ積み上げ、積み下ろし時のアクセルワークの徹底、毎月目標値の設定による燃料使用量の把握等 ・OA用紙の使用量削減 裏面利用促進、両面印刷励行、毎月の使用量報告 	
目標を達成するための取組の進捗状況	上記実施 運用管理者による月1回及び環境管理責任者による3か月に1回のチェックにより監視測定・進捗管理を行った。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	マネジメントレビュー等により見直し、評価し、確実に取り組むことができている	
事業活動に係る法令の遵守の状況	平成25年5月に当組合焼却施設で発生した基準値を超える排ガス流出事案以降、排水処理施設の運転休止に伴う不適切な処理により、京都府山城北保健所より瀬戸内海環境保全特別措置法の規定による措置命令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定による改善命令を受けた。 平成26年6月他自治体の焼却施設から大阪湾広域臨海環境整備センターへ基準値超過のはいじん処理物を搬出していた事案により、当組合におけるはいじん処理物当のダイオキシン類測定結果を点検したところ、基準値を超える処理物を同センターに搬出していたことが判明した。これらの事案を受け、設備の改修を行うとともに、改めてコンプライアンスの徹底を図り、適正な施設運営に努める。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	システムの評価はマネジメントレビューにより行われ、経営層による環境管理会議で見直し、改訂の議論がされている。 なお、26年度に基本方針及び環境マネジメントマニュアルの見直しを行った。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。